



市立三次中央病院 患者支援センターだより

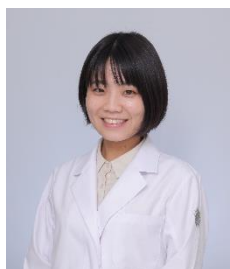


令和4年12月発行

～新任医師の紹介～

10月から産婦人科に赴任して参りました藤田真理子と申します。出身は福山市です。広島大学を卒業後、現在卒後5年目で後期研修中です。今まで、JA尾道総合病院、広島大学病院で研修して参りました。当院は県北地域の拠点病院として周産期から婦人科、検診、女性医学と幅広い診療を行っています。

産婦人科受診に抵抗を感じる患者さんが少なくないと思いますが、気軽に相談して頂ければ幸いです。少しでも貢献できますように努力致して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



産婦人科 藤田真理子

この11月より当院小児科に赴任してまいりました佐久間良一と申します。広島大学を卒業後、広島大学病院、広島市立安佐市民病院、県立広島病院での勤務を経て、研鑽を積んで参りました。当院小児科では、小児科疾患の治療だけでなく、健診や予防接種も多く行っております。

県北地域の小児科医療や保健の点で、貢献できるように尽力いたします。どうぞよろしくお願い致します。



小児科 佐久間良一

新しいスタッフが加わりました。

患者支援室 配置換え



3階フロアを担当の江草看護師が配置換えになり、後任に今谷が着任しました。慣れるまでご迷惑をおかけすると思いますが、円滑な退院調整が行えるよう努めて参ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。



市立三次中央病院
患者支援センター

〒728-8502 広島県三次市東酒屋町 10531 番地

TEL 0824-65-0239 (予約) FAX 0824-65-0159

TEL 0824-48-0086 (相談、入退院支援、退院・転院調整)

市立三次中央病院

開設 70 周年 記念 事業

去る令和 4 年 11 月 20 日（日）、三次市中心部の十日市コミュニティセンターにおいて市立三次中央病院開設 70 周年記念事業が行われました。

当日は、新型コロナ感染対策を行う中、午前は市民とのふれあいイベント、午後からは記念式典などを実施しました。

市民とのふれあいイベントでは、田中副院長から「心筋梗塞と予防」と題したミニ講演、呼吸器内科の栗屋医長から「がん：予防と早期発見」と題したミニ講演が行われました。看護部からは「看護師を目指す方へ～看護師への道～」という動画上映や進路相談、心不全チームからは「心不全とフレイルの予防」と題し、減塩食見本の展示・フレイルについての掲示や運動相談などを行いました。その他、感染対策チームから「手洗いの実践指導」を実施し、日頃の手洗い方法を感染管理認定看護師がチェックしました。



また、当院の外観をモチーフとした絵画・写真コンクール作品や病院の沿革の写真展示なども並行して行いました。



挨拶する福岡市長

午後からの記念式典では、広島大学病院の工藤病院長をはじめ多くのご来賓にご来場いただき、開設者の福岡三次市長のあいさつの後、ご来賓からの祝辞を受け、永澤病院長の謝辞で閉幕しました。その後、絵画写真コンクールの表彰式、浅原利正広島県参与から「市立三次中央病院の課題と展望」と題した記念講演、鳴戸三次地区医師会会長と浅原広島県参与、永澤病院長によるシンポジウムを開催し、すべての事業の幕を閉じました。コロナ禍のため制限された人数での開催となりましたが、多くの事業を行うことができ、開設 70 周年の節目の日となりました。

今後も安心・安全な医療を守る地域の最後の砦としての当院の立ち位置を自覚し、80 周年、90 周年と更に発展できるように日々研鑽を積み重ねていきたいと思っております。

